

アートを楽しむための点・線、面

月刊 アートコレクターズ

The Pleasure To See.
The Pleasure To Buy.

March
2023 NO.168

3

寄稿 池上英洋

インタビュー 建畠 哲

五十嵐太郎 / 建築の「強・用・美」

石田敦士 / いけばなの「線・色・塊」

倉林 靖 / 音楽の「リズム・メロディ・ハーモニー」

Art Collectors'

アートを
楽しむための
点・線、面



中特集 アートフェア東京2023

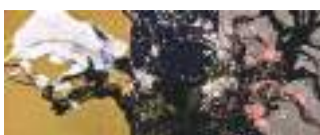
菅原健彦 展

2月25日(土)~3月19日(日)

価格は
要問合せ

古木に宿る生命力を作品へと昇華する菅原健彦。同展では青森県白神山地にある十二湖の一つ「青池」や、鹿児島県屋久島の自然を新たなテーマに加えた新作約40点を展覧する。

ギャラリーためなが東京店 TEL.03 (3573) 5368
中央区銀座7-5-4



「三春開花」65×164cm

「公募—日本の絵画2022—」
入賞作品展

3月3日(金)~3月11日(土)

価格は
要問合せ

「自然・人間・自然と人間」をテーマに、応募点数257点から5名の審査を経て決定した大賞・優秀賞・各審査員賞・入賞に輝いた15名の作品を展示する。

永井画廊 TEL.03 (5545) 5160
中央区銀座8-6-25 河北新報ビル5F



林銘君「蜃気楼」大賞受賞作

第2回 草間彌生 版画展

3月17日(金)~4月8日(土)

価格は
要問合せ

草間芸術のひとつのキーワードである“反復、増殖、連鎖”。版画制作は草間にとって特別な思いがある。3月22日の草間のバースデーを挟んだ同展では、版画作品10点を展示する。

永井画廊 TEL.03 (5545) 5160
中央区銀座8-6-25 河北新報ビル5F



「かぼちゃ(黄丁)」1992年
72.3×60.4cm
スクリーンプリント

ナカジマアートと片岡球子・宮北千織 展

2月22日(水)~3月7日(火)

価格は
要問合せ

片岡球子は96歳(2000年)、101歳(2005年)の時に、また宮北千織は2003年から4回同画廊で個展を開催している。数々の名作を残した片岡球子と、新たな表現を紡ぎ続ける宮北千織の作品が饗宴する。

ナカジマアート TEL.03 (3574) 6008
中央区銀座5-5-9 アベビル3F



上:片岡球子「ひまわり」2000年
下:宮北千織「心」2023年

大庭修二 個展~うるし画の魅力~

3月4日(土)~3月19日(日)

価格は
要問合せ

昨年好評を博した大庭修二(現創会会長)の同画廊2回目となる個展。貴重な初期作を含む、海外の風景や身の回りの静物を表現した漆画の魅力が堪能できる作品を展示する。

ギャラリー・ピエニュー TEL.080 (8855) 1217
中央区銀座7-12-5 銀星ビル5F



「インドの夕日」6号

U-ku 個展

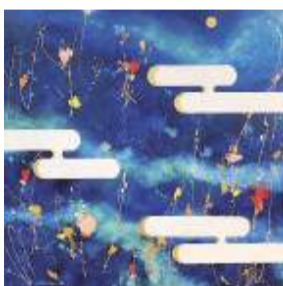
下萌の時—wake up to be—

掲載作品
34.1万円

3月16日(木)~3月22日(水)

水彩絵具が生み出す不随意的な滲みや形を、自身の幼少期に感じた孤独の記憶と照らし合わせ、最後にモチーフを描き加えた作品を展示する。

美の起原 TEL.03(3571)7091 [~2月]・050(3150)9998 [3月~]
中央区銀座8-4-2 高木屋ビル1F



「下萌の時」20号S

山岸千穂 個展「一条の光」

3月15日(水)~4月1日(土)

価格は
要問合せ

現代社会に必要な希望の光や苦境を打ち砕く力の象徴的な作品を制作してきた山岸。未だ混乱の絶えない世界に一条の光を投げたいと代表的なモチーフを集約して原点を見つめ、その発展した姿を描く。

Gallery MUMON TEL.03 (6226) 2555
中央区銀座4-13-3



「頭部(長鳴鳥)」2023年
紙本墨画彩色
41.0×31.8cm

金丸悠児 展

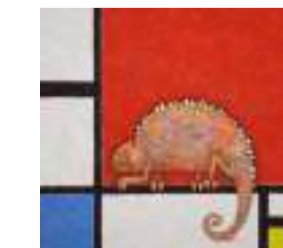
Homage to the Legend

価格は
要問合せ

3月7日(火)~3月17日(金)

動物をモチーフに想像性豊かな作品を描く金丸悠児。西洋や日本の名画をオマージュした作品を展覧予定。先人達が生み出した美術の源流に迫る。

ギャラリー和田 TEL.03 (3561) 4207
中央区銀座1-8-8



「赤、青、黄、カメオンのコンビポジション」ミクストメディア、パネル 10号S

Daylight

3月22日(水)~4月1日(土)

価格は
要問合せ

GALLERY NAO
TEL.03 (6447) 2407
港区六本木7-2-28
セントラル乃木坂101

白日会で切磋琢磨し合いながら、自らの表現を追求している作家によるグループ展。出品作家は浅村理江、小野彩華、友清大介、藤井佳奈、山本周、吉間春樹。6号前後の油彩各2点を出品予定。同時期に国立新美術館で開催中の白日会と合わせて見るのがおすすめ。



藤井佳奈「幸せの魔法」6号M



浅村理江「白藍色の光の中で」6号F

YU SORA 展

3月7日(火)~4月9日(日)

第16回「shiseido art egg」で入選した3名のうちの一人として、YU SORAの個展を開催。ギャラリー空間にインスタレーションとして部屋を創出し、儚く尊いものとしての日常を想起させる。

資生堂ギャラリー TEL.03 (3572) 3901
中央区銀座8-8-3 東京銀座資生堂ビルB1



「帰るところ」2020年 インスタレーション(布、糸、紙、プラスチック等)

金子貴富・根ノ木あさみ・湯澤美麻 三人展

3月8日(水)~3月15日(水)

価格は
要問合せ

若手画家3人のグループ展。静けさ漂う世界を描く金子、色彩の印象的な風景を表現する根ノ木、人物を得意とする湯澤の、三者三様の表現を展開。

創英ギャラリー TEL.03 (6274) 6698
中央区銀座7-2-6 銀座アステルビル1F



根ノ木あさみ「夏の記憶」油彩、キャンバス 30号P

創英ギャラリー面付
お願いします

石倉かよこ
個展
『Precious Pink』

3月18日(土)~26日(日)
10:30~18:30
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
創英ギャラリー

TEL.03-6274-6698
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
創英ギャラリー
https://www.suei-english.com/